

NetOptics Splitter Tap シリーズ



NetOptics社（米国）のスプリッタタップは光インターフェイスを主とした様々なネットワークデータを分岐し、ネットワーク上を流れるパケットをロスすることなく各種アナライザ・モニター・IDS装置などでキャプチャ可能です。増大するトラフィックとそれに伴うセキュリティ対策の強化において、それらソリューションを強力にバックアップいたします。世界中の大手通信事業者や通信プロバイダ・通信機器メーカーなどに幅広くご使用頂いております。

NetOptics Splitter Tapの主な特長

1) データトラフィックをパケットロスすることなくキャプチャ可能です。

- ・光スプリッタは電源を必要とすることなくパッシブに光を分岐します。パッシブなのでパケットロスすることなくデータトラフィックを取り込むことが可能です。

2) 光スプリッタは電源不要です。

- ・光スプリッタは電源を必要としません。電源故障によるネットワーク障害や機能停止の心配はありません。

3) 豊富なインターフェイスをサポート。

- ・ギガビットイーサネット（1000Base-SX、LX）をはじめ、OC-3、OC-12、FDDI、Fiber Channelなど豊富なインターフェイスを取り揃えております。また、新たに10ギガビットインターフェイスもリリース致しました。

4) ケーブルタップもごさいます。

- ・光スプリッタタップだけでなく、10/100/1000Base-TやDS-3などの銅ケーブルのタップもごさいます。（電源が必要です）

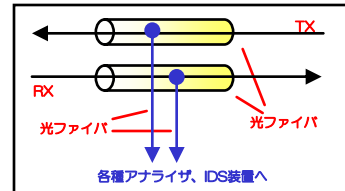
5) 1:nの分岐も可能です。

- ・1回線の光ファイバーのデータを複数ポートに分岐することも可能です。複数のポートにデータを分岐したい場合に最適です。



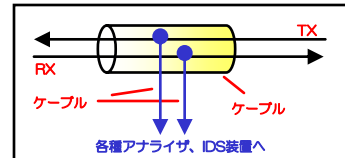
光ファイバタップ

- ・電源を必要とすることなくパッシブに光データを分岐します。1000Base-SX、LX、OC-3、OC-12、Fiber Channel、10GEthernetなど様々なインターフェイスに対応しております。（それぞれシングルモード/マルチモードがごさいます）



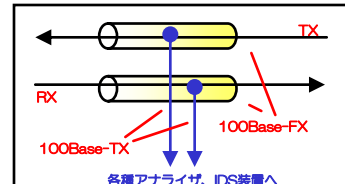
10/100Baseケーブルタップ

- ・LANケーブルのデータを電氣的に分岐します。リピータハブやミラーポートと異なりパケットロスや遅延を起こすことはありません。100Base-TX、10/100Baseオートネゴシエーション、1000Base-T、DS-3などのインターフェイスに対応しております。



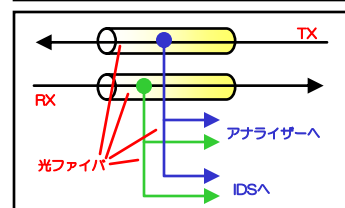
100Base-FX to TXタップ

- ・100Base-FXのネットワークデータを100Base-TXに変換して分岐します。測定器側のインターフェイスが100Base-TXしかサポートしていない場合などに最適です。



Regenerationタップ

- ・1回線のネットワークデータを複数ポートに分岐するタップです。光信号を増幅させ、各ポートに分岐します。対応インターフェイスは10/100Base-TX、1000Base-SX、LX、OC-3、OC-12で、それぞれ2回線/4回線/8回線を取り揃えております。同じデータをプロアナやブープ、IDS等に取り込みみたい場合に最適です。



※全ての製品は19インチラックに収容可能です。（別途パネルフレームが必要です）

